



2019年10月号 セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆さまへ

米連邦準備制度理事会 (FRB) は米景気の悪化を未然に防ぐ目的で、7月に続き2度目の利下げを決めました。そして欧州中央銀行 (ECB) も量的金融緩和再開を決定したことで、日本も含め先進国間で景気下支えのため、金融政策は再び緩和傾向が定着することが確認されて、世界の株式市場は安定感を取り戻しています。

リーマンショック以降世界的に金融が緩和されて、それが世界景気を支え続けて現在に至っていますが、10年を超えて続く米経済の拡大はピークが近付き、欧州では経済が停滞して特にドイツでは輸出低迷から景気の落ち込みが顕著になるなど、マーケットが先行きの景気後退懸念を持ち始めて調整する反応を示していましたが、グローバルに金融緩和政策が再開したことで、暫し金融市場は低金利と株高基調という「適温相場」環境を取り戻したようです。

一方でこの先は、米大統領選を約1年後に控えてトランプ政権の対中貿易交渉や安全保障面での対応動向も、再選を意識したスタンスへの転換へと目まぐるしく変化して、その都度金融市場が翻弄されるように上下に揺さぶられる局面も想定しておくべきでありましょう。

長期投資家にとっては、何より世界経済全体の長期的成長というグローバルな共通目的が堅持されていることを確認して、情報革命の進展がもたらす更に楽しく便利なテクノロジーが人々の生活観を変える途上にあり、長期的成長軌道は相変わらず存在しているのだということを拠り所とした視線を将来にしっかり据えておくことが大切です、「セゾン」乗客の皆さまには足元の相場変化に動ずることなく投資継続を心掛けていただきたいと思います。日々の相場に反応せず決して投資行動を変えないこと!それが長期的成果の肝要です。

代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。投資元本の保証はありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

委託会社: セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第349号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口: 03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド

9月の市場動向

株式

景気の先行きに対する懸念が高まっているものの金融緩和の長期化観測が広がるなかで貿易摩擦への懸念が後退して上昇

貿易や設備投資などの停滞が確認され景気の先行きに対する懸念が高まっているものの、米国やユーロ圏で金融緩和策が打ち出され、金融市場の混乱への警戒が和らぐなかで、米国と中国の貿易交渉が進展することへの期待が高まったことを受けて上昇しました。

債券

金融緩和の長期化観測が広がっているものの景気の先行きに対する悲観的な見方が後退したことを受けて下落

米国で政策金利が引き下げられたほか、ユーロ圏でも政策金利の引き下げや量的緩和策の再開が打ち出されたものの、米国と中国の貿易交渉が進展することへの期待が高まったことを背景に景気の先行きに対する悲観的な見方が後退して、下落しました。

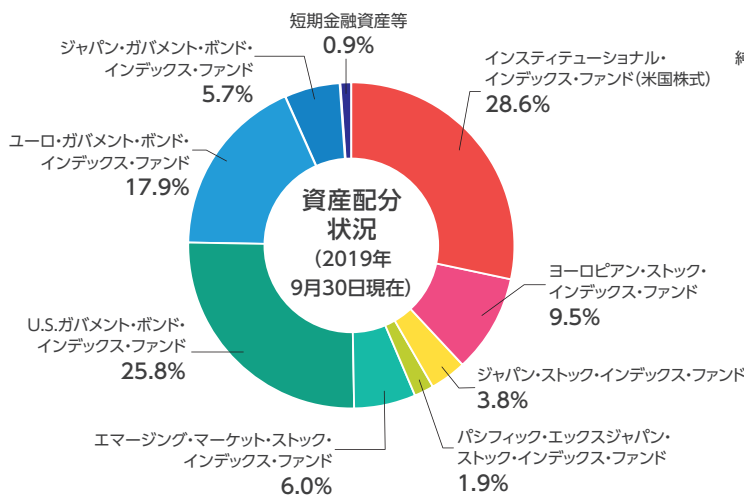
為替

ユーロ圏で景気の先行きに対する懸念が高まりユーロが対ドルで下落。円は下落し、対ドル、対ユーロで円安

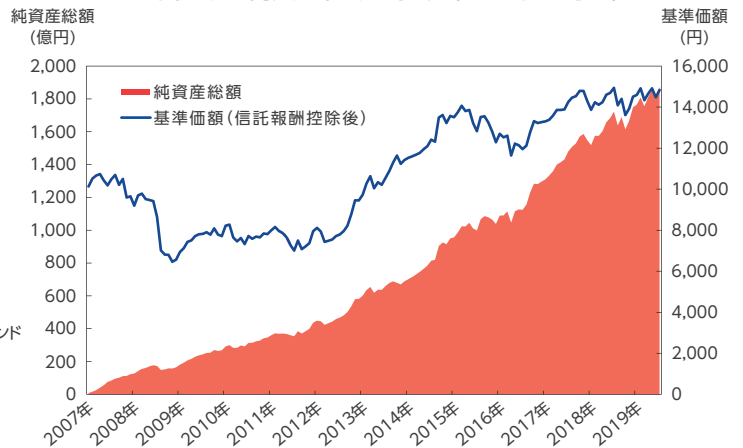
米国とユーロ圏で共に金融緩和策が打ち出されドルとユーロは途中まで方向感のない展開となったものの、終盤にユーロ圏で景気の先行きに対する懸念が高まり、ユーロは対ドルで下落しました。リスク回避の動きが後退したことを受けて資金逃避先通貨とされる円は下落しました。

基準価額と純資産総額及び騰落率(2019年9月30日現在)

| 基準価額 | 純資産総額 | 設定来騰落率 | 過去1ヶ月の騰落率 | 過去6ヶ月の騰落率 | 過去1年間の騰落率 |
|---------|----------|--------|-----------|-----------|-----------|
| 14,836円 | 1873.2億円 | 48.36% | 2.43% | 1.65% | -0.68% |



基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次)



9月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、株式・債券比率のリバランスを目的として株式ファンドの売却と債券ファンドの購入を行ったほか、定期積立プランなどでのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、債券ファンドと株式ファンドの購入を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、債券に投資するファンドが全て下落したものの、株式に投資するファンドが全て上昇し、投資先ファンドが基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ドル、対ユーロで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照ください。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

図1 9月度の投資先ファンド価格の変動による影響

※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

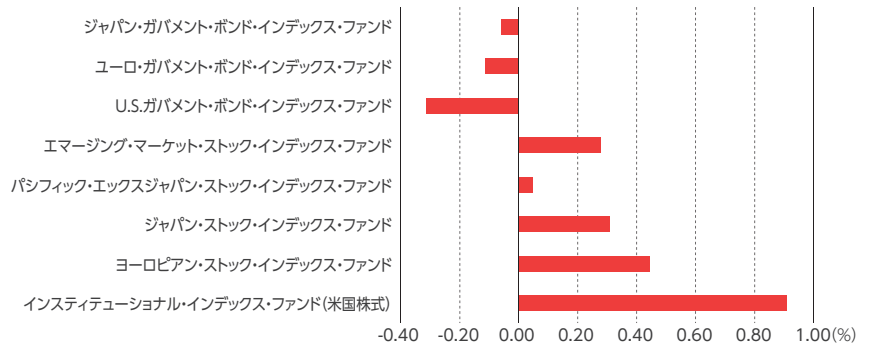
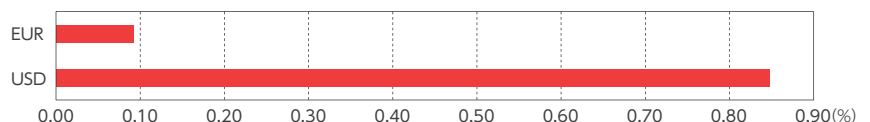


図2 9月度の為替変動による影響 ※月末の投資比率に基づく概算値



※詳細はセゾン投信HPに掲載しております「運用レポート(詳細版)」をご覧ください。

当ファンドに係るリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。〔価格変動リスク〕また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。〔為替変動リスク〕その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当ファンドに係る費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料:ありません。
- 信託財産留保額:換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用:ファンドの日々の純資産総額に年0.4968%(税抜0.46%)の率を乗じて得た額とします。(※消費税率が10%になった場合は、年0.506%になります。)その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.60%±0.02%(税込/概算)となります。(※消費税率が10%になった場合は、年0.61%±0.02%(税込/概算)となります。)

※ファンドの規模に応じて変動する場合があります。

○その他費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む。)および「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)